

# 第1回町会等活動座談会(2021年度)(報告)v1.0

日時：2021年7月16日(金) 14:00~15:45(105分)

場所：オンライン(zoom)会議、パレット柏多目的スペースA(主催者)

参加者：柏市町会等役員 22名(募集定員なし、申込24名)

柏市地域支援課職員 8名(吉田課長、中村L、老川L、大塩氏、所C、江幡C、井坂C、下藤C)

柏市環境サービス課職員 1名(石塚氏)

柏市社会福祉協議会 3名

柏市地域協働を考える会 11名(沓澤会長、秋元、岩佐、小齋、後藤、竹田、櫻井、島田、堀江、水谷、深津)

(うち有償スタッフ 竹田F、秋元F、小齋F、後藤F(F:ファシリテータ))

合計 45名

内容：概要は以下のとおり

## 1 主旨説明 (柏市地域支援課 吉田課長)

- ・今回初めての開催となる町会等活動座談会は、地域協働を考える会との協働事業であり、「ごみ集積所の問題」がテーマである。身近な課題を皆さんの討議の中で、少しでも参考になることを期待している。
- ・日本古代の遺跡発掘現場をみると、ごみを1か所に集めていた形跡があり、日本人は昔からごみ問題があり、それをきちんと扱ってきた。

## 2 ごみ集積所の問題について(柏市環境サービス課 石塚職員)

- 1) 事前アンケートから見た町会等のごみ集積所問題は、  
1位：カラス対策、2位：不法投棄ごみ、3位：町会未加入者・ごみ出し不便者・外国人問題
- 2) カラス対策はごみネット、折り畳み式ボックス、ファスナー式ネットの利用が有効
- 3) 不法投棄ごみ(集積所以外に捨てられるごみ、ぼい捨てごみ)は条例違反であり、柏市・柏警察署連名の看板設置で抑制。環境サービス課にて受け取れる。
- 4) 町会等未加入者のごみ出しは、ごみ捨てを禁止することはできないため、ごみ集積所の維持管理を皆さんで平等に行うようお願いしている。
- 5) 外国人のごみ出しは、外国語版(5か国分)のごみ出しカレンダーや啓発物を活用下さい。

## 3 グループディスカッション(書記のグループ報告および報告書より)

### Aグループ

#### 1) ごみ集積所の問題と対応

##### 【問題の実情】

- ・バス通りに本棚・ふとんなど大型廃棄物が、各所に不法投棄されている。防犯カメラを設置し投棄者に注意したこともある。
- ・ゴミ集積所に山のようなペットボトルやウォーターサーバーボトルが投棄され、処分に困っている。
- ・2, 3世帯程度のミニ開発の場合は、特定のゴミ集積所がないので、既存のゴミ置き場をお願いしても受け入れを拒否されるケースがあり、対処に悩んでいる。

- ・ 120 世帯が利用する資源ゴミの管理が大変。古新聞を集積所まで運ぶのが辛く、家の前で業者に回収を依頼する人が多い。
- ・ 移動式ゴミボックスを、収集日に設置し終われば折りたたんで格納しているが、高齢化のため作業が困難になっている。
- ・ ゴミボックスの公園内設置を市役所に相談したが断られた。現在折り畳み式を利用し公園のフェンスと樹木の間保管しているが、固定式にしたい。

#### 【対応策】

- ・ 町会負担と受益者負担を半分ずつ費用負担し、折り畳みゴミネットを活用
- ・ 不法に捨てられた大型ゴミの処分に係る手間とコストを町会で負担すべきなのか？  
→ 柏市環境サービス課に相談して欲しい。

### 2) 特徴あるごみ集積所の管理方法（高齢者支援策を含め）

- ・ ゴミ置き場の場所を 1 年ごとに移動している。10 世帯程度を一つの班にし、話し合いで 1 年毎に持ち回る。置き場を確保出来ない家や、高齢化の方は順番を飛ばしている。
- ・ 不法投棄防止の「ラミネートポスター（子どものデザイン付き）」を掲示して注意を促している。
- ・ 道路上に金属ゴミ BOX を常時設置。価格は 13 万円、大きさは 150cm\*50cm\*120cm。

### 3) その他、提案など

- ・ 町会のごみ集積所や空き地に、大型ごみなどの不法投棄が発生した場合は、まず町会会員専用のごみ集積所であることや、「不法投棄禁止」の看板を立て、ポスターを掲示して注意喚起をすることが大切。それでも不法投棄が継続する場合は、その現場写真を撮影し、市役所へご相談。不法投棄現場に遭遇した場合は直接に注意することは避け、車両番号や車の特徴を記録し、市役所や警察に相談することをお勧めしたい。

## Bグループ

### 1) ごみ集積所の問題と対応

#### 【問題の実情】

- ・ 消火器、TV、消火器、一人用ソファが不法投棄される。
- ・ 車の往来が多い町会や 16 号線の裏道にあたる場所では、色々な物が混入してポイ捨てされ、歴代町会長の悩みである。
- ・ 防犯カメラ設置したいが、市としては児童の安全対策上補助金が出るが、違反ゴミ対策上は対象とならず困る。
- ・ 高齢化で集積所迄、資源ごみを運べず、チリ紙交換車に渡す人が 80%いる。
- ・ 集積所を増やしたいが、行き止まりの道が多くゴミ収集車が回り込めず、市に申請しても却下。結果として 1 か所で 100 戸程度使用しているところがある。
- ・ マンションのゴミは管理人がやってくれるので問題ないが、夜間の管理人不在時にポイ捨てされる。
- ・ 生ゴミは AM8:30 迄に出すのが決まりになっているが、ゴミ収集車が来るのは 14 時頃なので、収集迄時間があり、臭いが気になるしカラス被害にあい易い。
- ・ 要介護 3 以上だと市に依頼できるが、それ以下でもゴミ出し困難な人がいる。町会の中に支えあい活動はあるが、住まいが近い人でないとなかなか支援ができない。
- ・ U 字溝の枯れ葉除去清掃がたいへん。市でやってもらいたい

#### 【対応策】

- ・ 町内のゴミステーションに違反ゴミの写真を撮って、その場所に掲示する。

- ・ 町内狭いので道路に面した場所を集積所として黙認している。

## 2) 特徴あるごみ集積所の管理方法（高齢者支援策を含め）

- ・ カラス対策用に集積所 40 のうち 20 ヶ所ファスナー付きゴミネットを設置し、効果あり。  
ただし現在半分程度替えたが、破れる、結構高い等の問題あり。

## 3) 特徴ある環境美化活動（ごみゼロ活動、清掃活動、花壇整備など）その他（特筆すべき内容）

- ・ 公園を月 2 回清掃実施。
- ・ 集合住宅では年 1 回のゴミゼロ DAY に多くの人に参加。年 1 回のゴミゼロ DAY が住民同士の交流の場になっている。
- ・ コロナで最近では清掃活動が出来ていないが、会館の清掃活動は行っている。
- ・ 高齢者が多いので、今後、助け合い活動や防災活動をやっていきたいが、他町会ではどうしているのか知りたい。

## Cグループ

### 1) ごみ集積所の問題と対応

#### 【問題の実情】

- ・ 空地だった集積所の場所に建物が建ってしまい集積所のやり場が無い等、設置場所の選定に困っている。
- ・ カラス防止サークルの購入に対して他の事に使うべきとの意見が有り困っている。
- ・ 町会未加入者への対応に苦慮。

#### 【対応策】

- ・ 60 世帯で 2 か所に集積所にカラス防止サークルを使用し、成果良好。

### 2) 特徴あるごみ集積所の管理方法（高齢者支援策を含め）

#### 【カラス被害防止】

- ・ 高額のカラス防止サークルの代替として 100 均のワイヤーネット使用で低コスト、効果あり。
- ・ 集合住宅の集積所の前面だけにワイヤーネットを使用する事で綺麗に管理できる。
- ・ 25 世帯で 45000 円の蓋付きサークル購入で経過良好。
- ・ ネットだけでなく三方に枠を付ける事でカラスは防げる。

#### 【当番の明確化】

- ・ 集積所にごみ当番担当者の名前を本人がぶら下げることにより、責任を持って準備や後片付けを行い、他人からも誰が当番か分かるようにする。

#### 【意識向上策】

- ・ ごみ集積ボックス設置の必要性について問題意識を持ってアンケートや話し合い等取り組み努力をしているが、もう一歩と言う所で戸惑って進めない町会もある。

### 3) 特徴ある環境美化活動（ごみゼロ活動、清掃活動、花壇整備など）その他（特筆すべき内容）

- ・ 10 年以上経過しているごみサークルを地域の人がちょこちょこ修理をして長年に亘り使用に耐えている。善意、協調性を醸成する地域活動の成果である。
- ・ 地域の公園の落ち葉清掃をボランティアで毎日 365 日実施してくれる人の存在がある。
- ・ 防犯パトロールでタバコの吸い殻等を拾いながらの美化活動を行っている。

#### 4) その他（特筆すべき内容）

- ・ ごみ集積所の 1 か所あたりの使用世帯数を最適化(少なく)すると、丁寧な使用がなされ美化が保持される。集積所が近くになる事でこまめにごみ出しが出来 1 回の全体量が減る。
- ・ 10 軒以下にて持ち回り交代（半年～1 年）で自宅前を集積所にすると、まとまったスペースの必要が無く細い道でも対応が出来る。また使用する人が顔の見える関係で有り美化が保たれる。
- ・ ごみ集積所の設置には近隣の人たちの話し合いに町会のリードがあるとまとまりが早い。
- ・ 集合住宅の集積所を近隣の戸建住民も使用させてもらう。集合住宅ではごみ当番を決めるのに困っているが、戸建住民が代わりに当番や清掃を行う。特に資源ごみではお互いメリット有り。

### Dグループ

#### 1) ごみ集積所の問題と対応

##### 【問題の実情】

- ・ 50 軒あたり 1 ヶ所の大規模集積所があり、管理清掃など諸問題がある。
- ・ アパート住民が多い大家さんから準会員のようにお金を受領しごみ集積所を利用してもらっているが、掃除管理まで行き届かない。
- ・ 困っているのは違反ごみであり、本人に直接分別を促すこともある。
- ・ 資源ごみを 1 ヶ所で収集しているため、運搬が大変との声が特に高齢者から挙がっている。

##### 【対応策】

- ・ 町会未加入者のごみ出しについて、最低限の協力として町会費半額徴収や役割・協力をしてもらい、その事を集積所利用の加入者全員から許可を得る必要がある。改善策として、ごみ出し分別等はカレンダー持参で説明したところ違反ごみが若干減った。
- ・ 集合住宅住民のごみ出しは、ルールの浸透が難しいためやむなく目をつぶる状況がある。

#### 2) 特徴あるごみ集積所の管理方法（高齢者支援策を含め）

- ・ 当初から各班のごみ集積所規模を 10 世帯に 1 ヶ所の範囲で設置していることから、収集・管理はスムーズ。
- ・ ごみ集積所の当番が辛いと言うご高齢者が勤めを果たせないと気にしていたが、組(班)で話し合い当番をパスする配慮が行われる。
- ・ 設置場所スペースがないため、折り畳み式設置や個人所有の土地へ設置し所有者には町会より年 1 回定額のお礼を出している。
- ・ 支えあい活動により、「ごみ出し支援」を 1 回 50 円で 28 人の支援者で実施している。

#### 3) 特徴ある環境美化活動（ごみゼロ活動、清掃活動、花壇整備など）その他（特筆すべき内容）

- ・ 側溝掃除から始まった活動が、現在は自宅前の草取り、ゴミ拾いに変わり継続。
- ・ 年 1 回年末に町会役員で事前に決めて清掃と草取り等を行い、終了後に忘年会を開催。
- ・ 老人会主体・区が支援して年 3 回、小学校の校庭の草刈り等を区有志 146 人で実施。

[記:堀江、櫻井、水谷、岩佐]

## 4 質疑応答

- 1) 不法投棄ごみがあった際は、どのように対処したら良いのか  
→ 分別や回収日時を守らずに出されてしまったごみについて、排出者が間違えて出してしまった可能性も考えられる。そのため、排出者自身にごみを持ち帰り、正しい分別で出していただくための期間として、数日、その場所に置いていただいている。  
それでも残っている場合などはケースバイケースとなるので、環境サービス課にお問い合わせください。
- 2) ごみの戸別収集はできないのか？  
→ ごみ出し困難者支援収集があり、条件(要介護3以上、障がい者手帳保有等)により戸別収集を行っている。ごみ出し困難者も人によって様々な条件があると考えられるため、詳しくは廃棄物政策課にお問い合わせください。

## 5 所感、まとめ

- 1) カラス被害への問題意識が高かったが、座談会で各町会の工夫や対処方法が具体的に示され、苦勞している町会等には、たいへん参考になったと考える。
- 2) 不法投棄ごみの問題は大きく、解決が必要。まずは環境サービス課に相談することを伝えることが必要。不法投棄者が判明した際には、複数人数で対処することや投棄者に直接交渉せず市役所へ連絡するなどの注意が必要。
- 3) 町会等未加入者の扱いも大きな問題。ごみ集積所を綺麗に使ってもらおう対応が必要。未加入者のごみ集積所利用は人間関係に影響する。各町会等のやり方があると思うが、コミュニケーションを持たないと出来ない。当番だけでもやってくれれば良い。
- 4) 高齢者への対応は、支え合い活動で行う手法がモデルになると良いが、支援者が近所にいない地域もあるし、近所の人にごみを見られたくない高齢者もいる。
- 5) コミュニケーションがうまくいくと解決ができ、結果が出る。ごみ集積所の問題もコミュニティの作り方の問題と考える。側溝掃除やごみ拾い活動が、コミュニケーションのきっかけになる実績もある。
- 6) ごみを集める人の立場になることも大切。DIY(柵設置)も収集側から見るとやり難い面も有り。
- 7) ゴミ出しについては、どこの町会も同じような悩みを抱えており、色々と工夫はしているが完全な解決方法がないのが現状。ごみの各戸別収集ができれば良いのかもしれないが、それでもまた新たな問題が発生する可能性もある。対策は取っていく必要があるが、今のところ町会内の人のつながりの中で、ひとつずつ解決していくしかない。

### 【所感、運営上の改善点】

- 1) 今回、初めての座談会であったが、町会長だけでなく担当者の方を対象にしたこと、ゴミ集積所という身近なテーマであったことから、大変関心が高く、多くの参加者があったことは良かった。
- 2) 座談会とは言え、オンライン会議は固い感じになる。飲み物を飲みながらリラックスした雰囲気になりたい。またグループ討議 60分は短く感じる。
- 3) グループ討議のメンバーは事前に分かった方が進め易い(今回は討議直前に自動で振り分け)。今後は事前にグループ分けする。
- 4) チャットは慣れないと、うまく使えない。討議の途中でチャットが入ると気になる。慣れるまではチャットは使わない方が良い。

- 5) 参加町会の1/3(7町会)が、柏市のイベントに初参加。身近なテーマを選んだため、参加し易かったと考える。座談会に今まで参加していない多くの町会等が参加してくれることを期待。
- 6) オンライン会議では個別のやり取りが伝わり難い。他のグループの討議全体も聞きたかった。(環境サービス課)

以上



主催者(地域支援課)の様子(パレット柏)



吉田課長のご挨拶



グループ討議(前半)の様子



写真を使って討議、休憩中に協働会を紹介



グループ討議(後半)の様子